

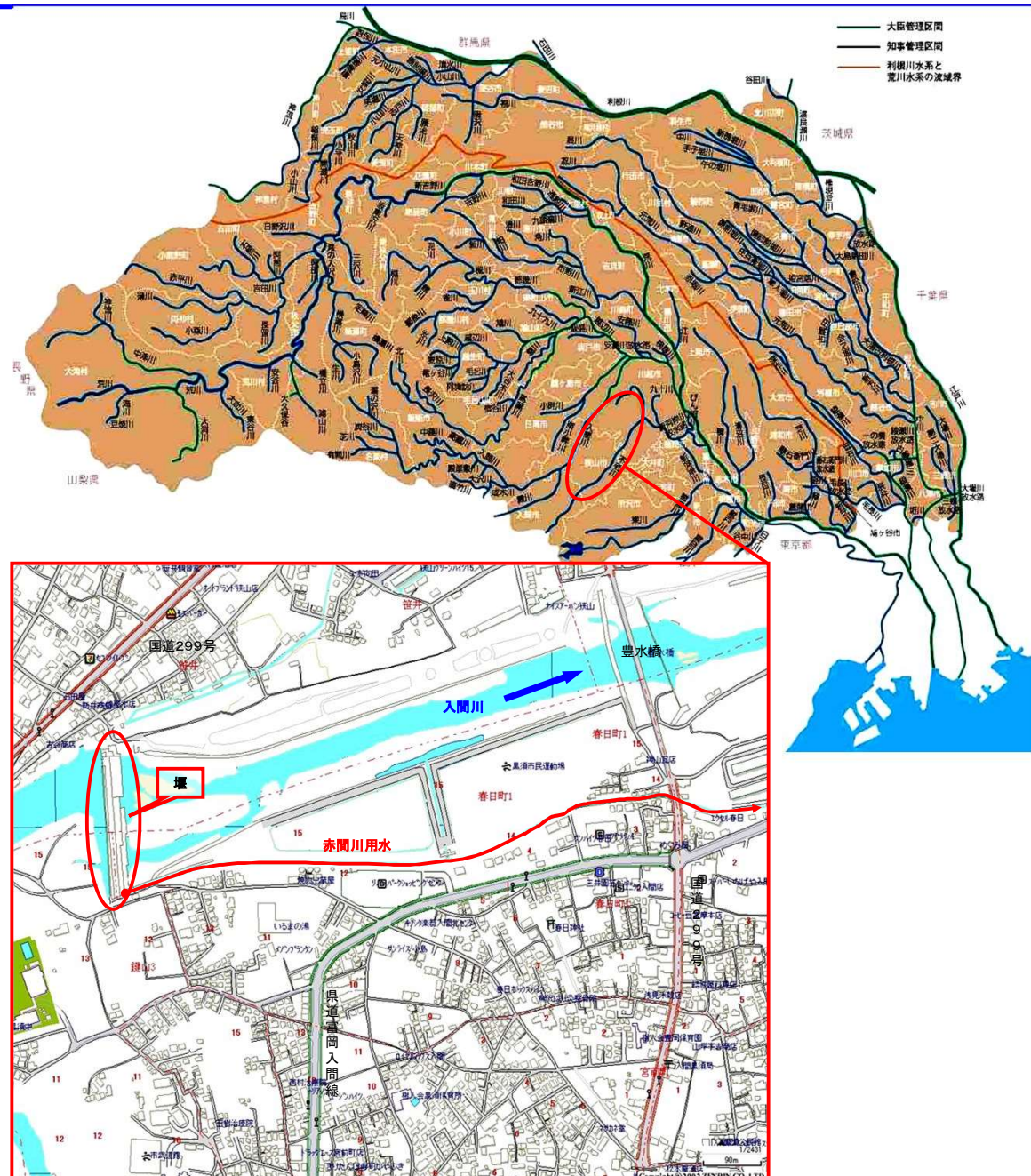
【 赤 間 川 用 水 （ 笹 井 堰 ） 】

管 理 者	入間第二用水土地改良区	受益地域	川越市・狭山市・入間市
-------	-------------	------	-------------

用 水 の 変 遷

もとは慶長年間(1866頃)川越城主松平伊豆守により、狭山市鶴ノ木地先(豊水橋下流210m)に頭首工を設け、S14まで当時の入間川町が管理し取水がされていた。しかし、洪水の度に入間川の流心が変化し、堰止めに莫大な資材や労力がかかったため、県営用排水幹線改良事業赤間川地区の実施(S16-19)により、上流の笹井堰の右岸側より取水することになり現在に至る。

用 水 位 置 図



用水施設写真

堰(左岸を望む)



入間市鍵山三丁目地先

堰(右岸を望む)



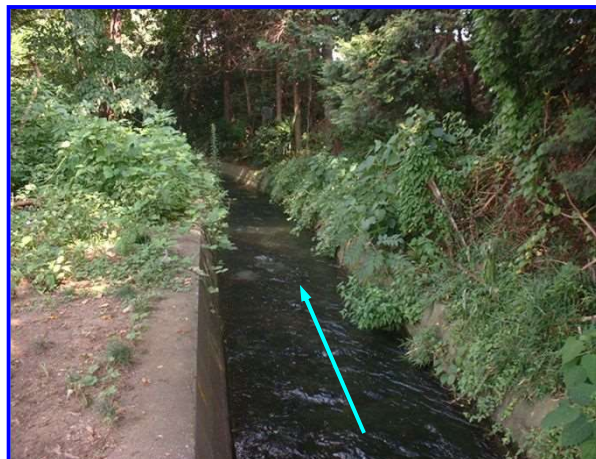
狭山市笹井地先

取水口



入間市鍵山三丁目地先

赤間川用水



入間市鍵山三丁目地先

赤間川用水

